

People Cloud設立後初！ 東欧エンジニアの移住・就職プログラム「Hello, Yaponiya」(ハロー・ヤポニーヤ)第一期 パートナー日本企業を2023年6月12日より募集開始。

テストプログラムで集まった17ヶ国105名のエンジニアの統計データも一部公開。
5割が経験年数5年以上のミドル・シニアエンジニアで、
3割が日本語学習者、8割が英語でのコミュニケーションに問題なし。

日本のIT企業向けに東欧の高度ITエンジニアの移住・就職プログラム「Hello, Yaponiya(読み:ハロー・ヤポニーヤ、URL:<https://www.helloyaponiya.com/for-japanese-companies>)」の運営を手がける株式会社 People Cloud(本社:島根県出雲市、代表取締役:牧野 寛、読み:ピープル・クラウド、以下、People Cloud、URL:<https://www.people-cloud.jp>)は、第一期パートナー日本企業の募集を2023年6月12日より開始することを発表いたします。募集期間は、6月12日～23日の12日間です。
申請フォーム: <https://onl.bz/14zRRzp>



「[Hello, Yaponiya](https://www.helloyaponiya.com/for-japanese-companies)」は、東欧などの地域から、数学・物理・情報科学などの高等教育を受け、日本企業で働きたいという意思を持った高度なITエンジニアを年に2～4回募集します。「Hello, Yaponiya」に採択されたエンジニアは、半年間の日本語レッスンをオンラインで受講し、全レッスンの終了時に2週間の出雲市への招聘プログラムに参加します。招聘プログラムの期間中には、企業訪問や採用担当者との面談、エンジニアイベントなどを実施し、日本企業の働き方や日本での日常生活を実際に体験します。2022年11月～2023年6月にかけては、テストプログラムが実施され、17カ国105名の東欧ITエンジニアから応募があり、そのうち8名が採択されました。

今回募集を開始する第一期は、「Hello, Yaponiya」の運営がPeople Cloudに移管されてから初めて実施されるものです。テストプログラムで検証した結果を元に、より精度の高いプログラムへとブラッシュアップし、2023年6月～2024年1月の約7ヶ月間にわたり実施されます。現在募集している東欧エンジニアの属性は、主にウクライナ、ベラルーシ、ロシア、ポーランド、ルーマニアなどに住む、経験年数4～5年以上のミドル・シニアエンジニアです。これらの人材の採用に興味がある日本企業は、「パートナー企業」として参画することができます。パートナー企業は、第一期に応募する約150～200の高度な東欧ITエンジニアに関するデータベースにアクセスできるようになります。

■「Hello, Yaponiya」第一期パートナー企業申請フォーム

申請フォーム: <https://onl.bz/14zRRzp>

Hello, Yaponiya公式サイト: <https://www.helloyaponiya.com/for-japanese-companies>

■「Hello, Yaponiya」第一期進行スケジュール

6月: パートナー日本企業の募集、東欧 ITエンジニアの募集

※パートナー日本企業の募集締め切りは、2023年6月23日を予定していますが、
運営の都合により延長する可能性もございます。

7月: パートナー企業から応募エンジニアに対するフィードバック、第一期採択エンジニアの決定

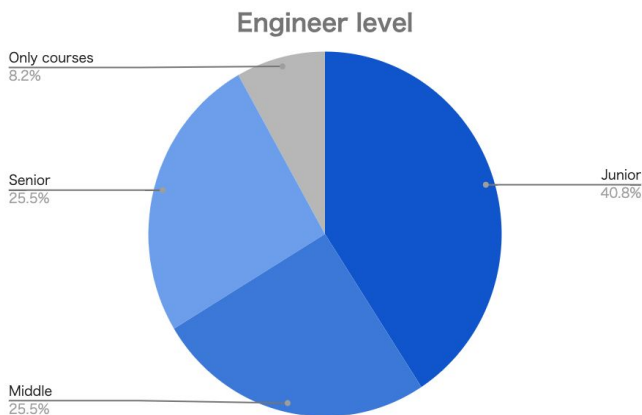
8月: エンジニア向けオンライン日本語教育を提供開始(～ 2024年1月)

※パートナー日本企業は、この間エンジニアとの面談や、コーディングテスト、テスト開発などを行うことが可能です。

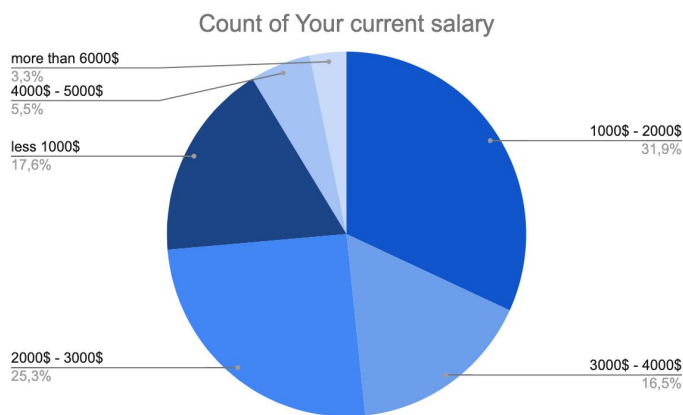
■「Hello, Yaponiya」テストプログラム(2022年11月～2023年6月)の応募者のデータを公開。

応募者の5割以上が経験年数5年以上のミドル・シニアエンジニアで、3割が日本語学習者！

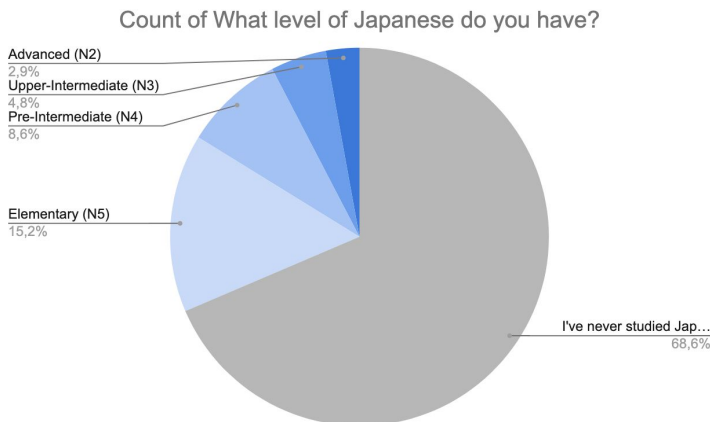
テストプログラムは、SAMI Japan、モンスターラボオムニバスが主体となって推進し、17カ国105名のエンジニアから応募がありました。応募者の5割以上が経験年数5年以上の「ミドル・シニアエンジニア」で、5割以上が「現在給与が月3000米ドル以下」です。また、応募者の3割が「日本語学習者」であり、8割が「英語によるコミュニケーションに問題なし」です。さらに、応募者が使用する開発言語には、Python, Ruby on rails, C#, C++, Java, JavaScript, ReactJSなどがあり、エンジニアタイプとしては、「フルスタック」29.9%、「バックエンド」24.7%、「フロントエンド」13.0%のほか、「データアナリスト」、「QA」、「ブロックチェーン」、「デザイナー」、「システムアドミニストレーター」、「AI」などがいました。



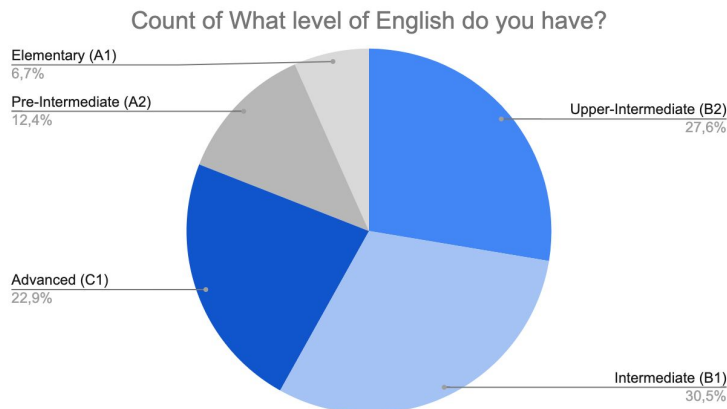
Hello, Yaponiya応募者の5割以上が経験年数5年以上の「ミドル・シニアエンジニア」



Hello, Yaponiya応募者の5割以上が「現在給与が月3000米ドル以下」

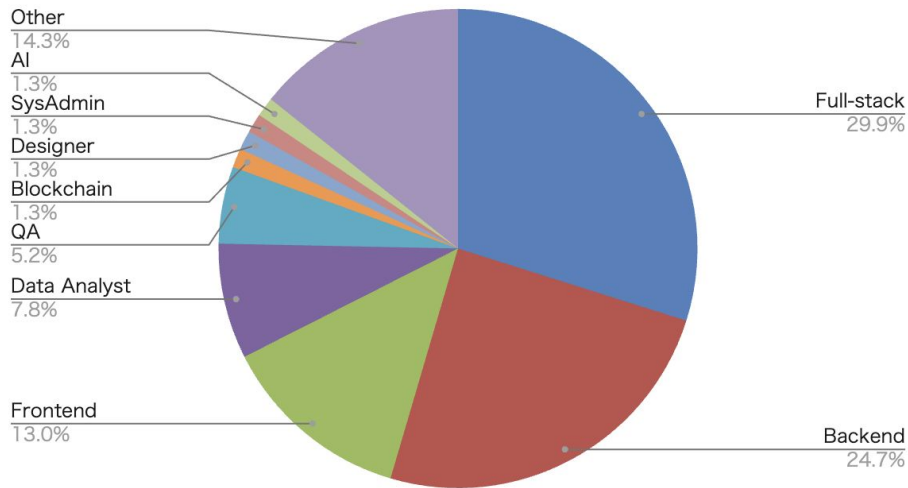


Hello, Yaponiya応募者の3割が「日本語学習者」



Hello, Yaponiya応募者の8割が「英語によるコミュニケーションに問題なし」

Types of Developers



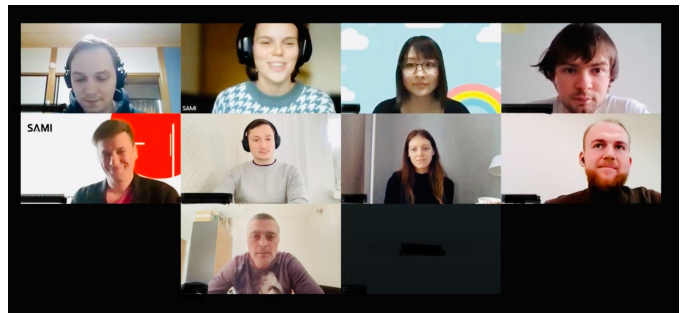
Hello, Yaponiya応募者のエンジニアタイプ内訳

テストプログラムに採択された 8名のうち、6名には、約半年間のオンラインの日本語レッスンと、日本のビジネスカルチャーや保険制度などに関するウェビナーを実施しました。レッスン終了時には、東欧エンジニアが 出雲市に2週間滞在する招聘プログラムを実施し、滞在期間中には、SAMI Japanが主催、モンスターラボオムニバスとe-Gridが共催となり、出雲市の社会課題を解決するハッカソン「Hack Izumo」を行いました。この成果発表会「DEMO Day」をe-Grid本社オフィスにて行い、東欧エンジニアたちが日本企業の代表者や人事担当者に向けて、出雲市の課題を解決するためのアイデアや出雲市にローカライズさせたシステムなどの成果物を、日本語で作成したスライドを用いて発表しました。

<テストプログラムの様子>



半年間、週3回行われた日本語のオンラインレッスン



日本のビジネスカルチャーに関するウェビナー



出雲大社視察



松江市で行われた企業訪問



出雲市長表敬訪問



出雲市で行われた企業訪問



日御碕にあるSAMi出雲オフィスでの開発の様子



日御碕にあるSAMi出雲オフィスでの開発の様子



e-Gridの本社オフィスで行われた「Hack Izumo」DEMO Dayでのプレゼンテーション



e-Gridの本社オフィスで行われた「Hack Izumo」DEMO Dayでのプレゼンテーション

<株式会社 People Cloudについて>

SAMI Japan、モンスターラボオムニバス、出雲市など、民間 4社と1つの自治体によって2023年5月に設立されたジョイントベンチャー。東欧エンジニアの移住・就職プログラム「Hello, Yaponiya」と、出雲市への企業誘致のハブ施設となるコワーキングスペースの運営を手がける。「出雲から、Izumoへ」をスローガンに掲げ、出雲市内での人や企業の出会い(=ビジネス縁結び)の場を提供し、出雲を日本の一地方都市から、世界中から優秀な人材や企業が集まる、魅力溢れる国際都市に導くことを目指す。さらに、日本企業の国際化と世界市場での競争力の復活を図る。

